

## バスが中央を走る ～路線バスの利用を快適に～

### 1. 概要

福岡市は非常に交通量が多く、数多くの渋滞が発生しています。そのため、バスは定時性・信頼性を著しく低下させ、利用者の減少を加速し、自動車への転換を促進する一因となっています。自動車への過度の依存は環境や、都市交通の観点から深刻な問題を招くことになります。このため、公共交通サービスの拡充が必要となってきます。その一つの策として、バスの走行環境改善が必要となってきます。そこで、私は道路の右車線にバスを走らせる中央走行方式バスシステムの導入を提案します。

### 2. 福岡市の交通状況

福岡市は都心部を中心に渋滞が多く発生しています。その影響によって路線バスも渋滞に巻き込まれてしまい、定時どおりに路線バス運行することができないというのが現状です。そのため、バスによる公共交通サービスが低下し、自家用車を利用するようになって、交通量が増加しています。その結果、多くの場所で交通渋滞が発生し、二酸化炭素排出量も増加するという悪循環に陥っています。このように、福岡市は自動車に依存している状態であるので、公共交通サービスを充実させ、自家用車を利用している人々を公共交通へ移行させる必要があると思います。

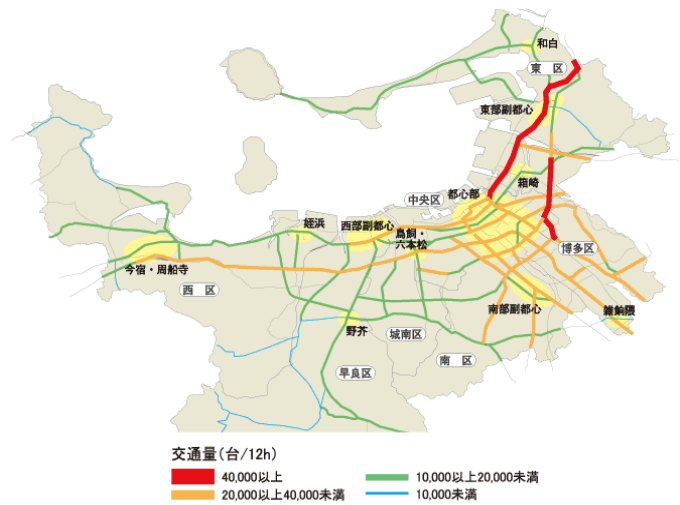


図 - 1 福岡市の交通量

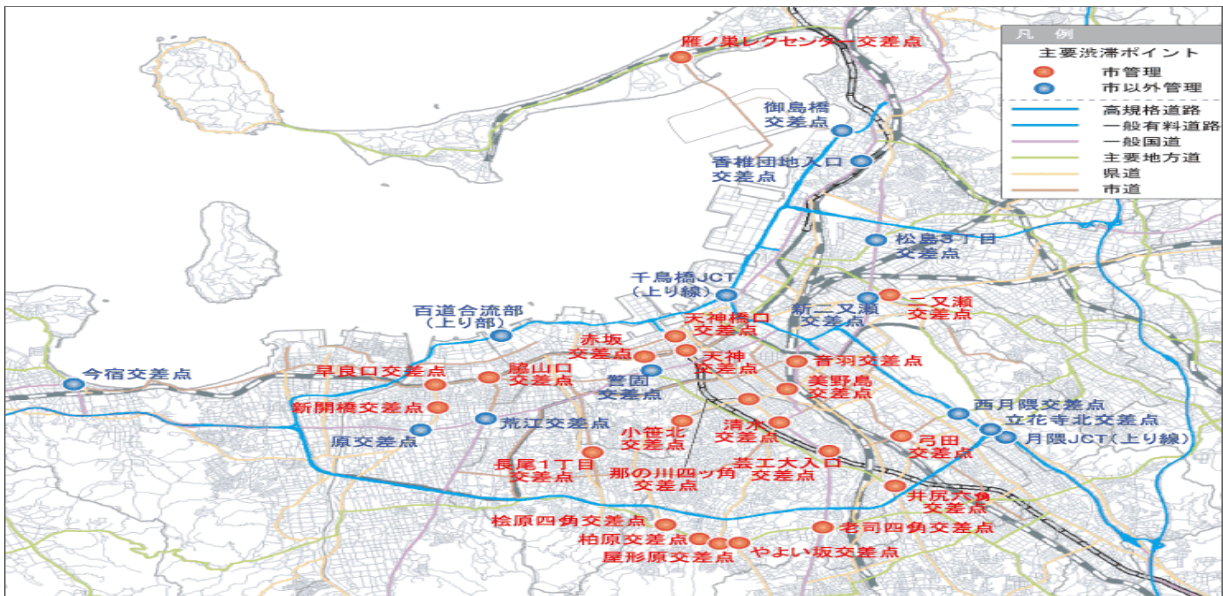


図 - 2 福岡市の渋滞ポイント

### 3. 中央走行方式バスシステムについて

中央走行方式バスシステムは、路側バスレーンで交通の妨げとなる左折車両や区画街路からの流入車両、ならびに、駐停車車両の影響を抑え、高頻度・高速走行及び定時性の確保を可能にするものです。日本での導入例は名古屋のみであるが、南米の都市で大規模に導入されており、また最近ではアジアでも導入例が増えつつあります。また、名古屋市基幹バスでは停留所付近以外は分離帯を置かず、バス優先レーンを用いています。

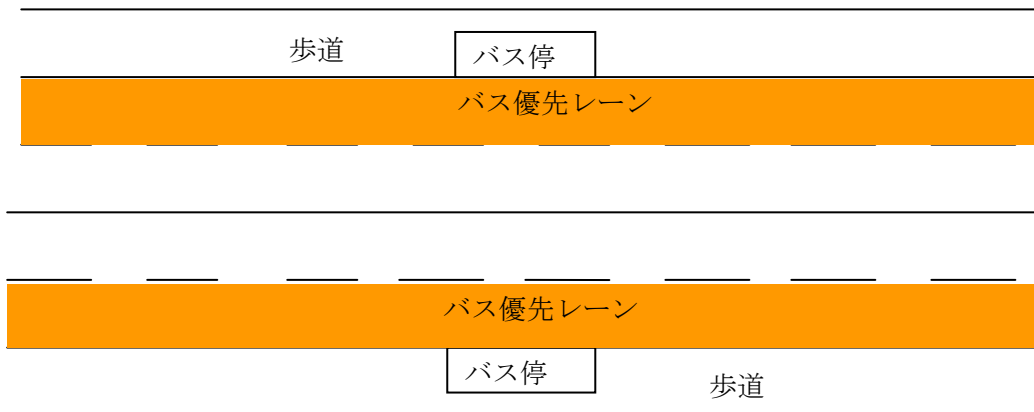


図-3 従来のバス走行システム

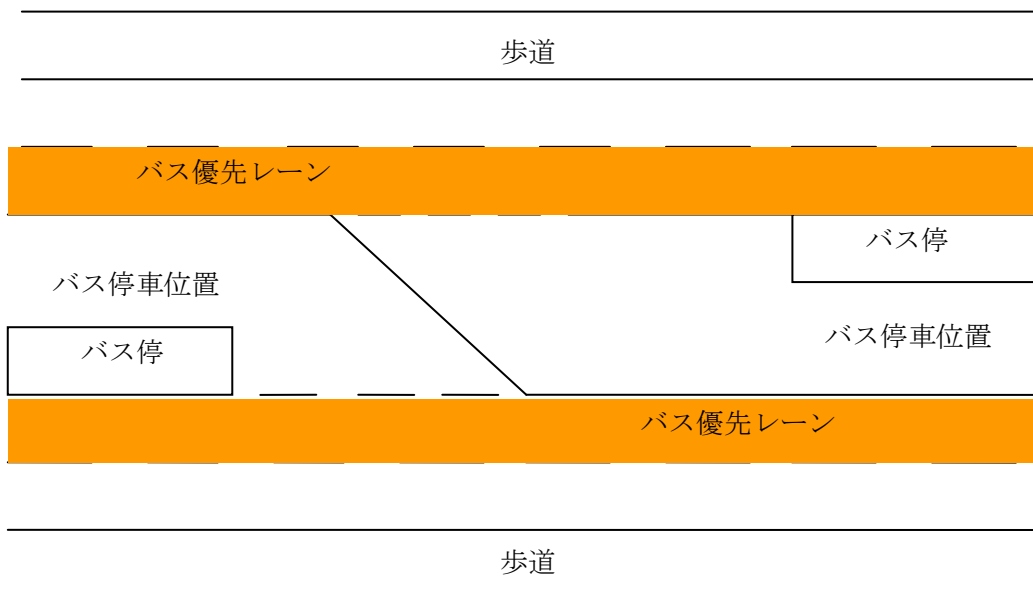
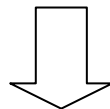


図-4 中央走行方式バスシステムのイメージ図

#### 4. 中央走行方式バスシステムのメリット

中央走行方式バスシステムにすることによって、以下のようなメリットが挙げられます。

- (1) 中央走行によって一般車両の影響が少なくなり、路線バスの高速走行を可能にする。
- (2) 渋滞に巻き込まれないため、停車時間が短くなりCO<sub>2</sub>排出量が減少する。
- (3) 渋滞に巻き込まれなくなるため、定時運行が可能になる。
- (4) 定時運行が可能となるため、バス利用者が増加することが考えられる。
- (5) バス停の位置が移動することによって歩道が広くなり、利用しやすくなる。

#### 5. さいごに

中央走行方式バスシステムは導入することによって定時運行が可能となり利便性が増すと同時にCO<sub>2</sub>削減にもつながり、人と環境にやさしいシステムであると思います。道幅や金銭的なことやバス停が中央にあることで人身事故の危険性など問題は数多く存在するが、導入することができれば公共交通機関を利用する人が増え、交通量は減少し、より住みやすいまちになっていくと思います。